

事務事業名		伝統人形芝居振興事業			会計	一般会計				
課等名		文化会館			事業種別	政策	開始	S59	終了	
基本計画上の位置づけ		政策	6	地域の自然・歴史・文化を活かし続けるまちづくり						
		施策	63	地域資産の保存・継承						
目的	対象(誰・何を)	①今田人形座及び黒田人形座 ②人形座が保存されている地元中学生(竜峡中、高陵中)			対象指標	指標名及び単位			24年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	①人形浄瑠璃を上演できるようにする。②技術を学び継承する。				①座数			2	
	向上させたい上位施策の成果指標	保存・継承されている地域資産の数				②地元中学生(竜峡中、高陵中)数			763	
目標	種別	指標名及び単位			24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)	
	成果指標	①上演回数			20	32	25	20		
	成果指標	②人形浄瑠璃を学ぶ中学生の数			50	45	45	50		
定性目標										
事業概要	今田人形、黒田人形の伝統人形浄瑠璃を保存伝承するために、それぞれの保存会や伊那谷4座が共同して行う研修活動、後継者育成を目的とする地元中学校への指導活動を支援する。									
事業内容					名称			活動指標		
24年度事業内容	平成24年度から生涯学習・スポーツ課が所管していた「伝統人形芝居への補助(黒田人形芝居・今田人形芝居)」と統合し、事務事業名を「伝統人形芝居振興事業」に変更する。 1 技術向上の取り組み (1)各座の稽古 (2)伊那人形芝居保存協議会の合同研修 2 後継者育成の取り組み (1)高陵中学校(黒田人形)、竜峡中学校(今田人形)への指導 3 関心を高める取り組み (1)学習活動(美術博物館プラネタリウムほか) (2)PR活動(地区外での公演) 4 上演・稽古等の施設の管理 地元の管理運営委員会へ指定管理(委託料の支出)				1 (1)稽古日数 (2)研修実施日数 2 指導回数 3 (1)学習活動 (2)PR活動 4. 管理施設数			1 (1)73日 (2)32日 2 67回 3 (1)97回 (2)10回 4 2施設		
事業コスト		23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足				
事業費計(千円)①		1,565	2,796	2,740	4,296	(国)国宝重要文化財等保存整備費補助金 (そ)地域伝承活動事業負担金(阿南町、箕輪町)				
国庫支出金					1,000					
県支出金										
起債										
その他					500					
一般財源		1,565	2,796	2,740	2,796					
人件費計(千円)②		159		118						
正規職員所要時間		30		30						
臨時職員所要時間		48		10						
総事業費①+②		1,724	2,796	2,858	4,296					
事業内容・目標達成状況の振り返り	各座の稽古、伊那谷4座合同研修により技術が向上、継承されている。また上演回数も多く、上演を通じて伝統人形浄瑠璃の魅力を広めることができている。中学生の活動については学ぶ生徒数は伸びていないが各学校、各座が力を入れていただいております、地育力を推進する活動になっている。									
改革改善の考え方	①問題点	後継者の育成が課題である。								
	②改革提案	技術向上への支援を行い、上演活動、学習活動、PR活動を通じて啓発に取り組む。また、「人形劇のまち運営協議会」など、人形劇に関わる他団体等との連携による新たな活動の展開などを支援していく。								